

広報



みさわ

3

2013年
(平成25年)
No.701
月号

CONTENTS

- 08 市政の動き
- 16 マックチャンネルガイド
- 18 出来事通信
- 20 みさわ情報ネット
- 26 PickUp 親子標語
- 27 PickUp 自殺予防講演会
- 28 WVCへ
三沢初の入学者



02 特集 基地内大学のススメ

自帰りできる 海外留学

あなたの手作りバレンタイン

2月10日／県立三沢航空科学館

バレンタインにあげる、手作りデコレーションのお菓子作り。
家族や友人、大切な人への想いは最高のトッピング。



基地内大学 日本人就学の道のり

本来、基地内大学は米軍人や軍属、その家族のために開設された教育機関。当初、日本人の入学は認められていなかった。現在のように、多くの日本人が学べるようになったのは、当時の県民の熱心な活動のおかげである。

発端は昭和57年。むつ市で英語塾を経営していた富岡哲氏が、外務省と文部省（現文部科学省）に問い合わせたことが全ての始まりだった。氏は三沢英語学校の沢田理事長（当時）らと共に米軍三沢基地、青森県、外務省、米国国防総省と日本人就学について粘り強く交渉を継続。日米地位協定上困難との見解もあったが、昭和62年に沖縄県嘉手納基地の基地内大学に日本人就学が認められたことから、三沢市と氏は県や国への働きかけを強めた。数年にわたる関係者の尽力はついに実り、平成2年4月、当時の北村県知事とデベルヴュー第432戦闘支援群司令との間で就学事業に関する覚書が締結。日本人の基地内大学就学が実現した。

同月に開始した初の募集には108人が応募。TOEFL試験と面接試験を経て、41人が合格し第1期生となった。2期目の平成3年からは、財団法人 青森県国際交流協会が就学事業を実施。平成15年からは関係者や卒業者が三沢基地内大学就学協議会を設立し、就学者への支援を続けている。

（参考 三沢市史 統通史編）



▲平成2年に行われた第1回就学式の様子

もともと、在日米軍基地に勤務する軍人やその家族のために開設された基地内の大学は、当初、日本人は就学することができなかつた。しかし、三沢市や就学を希望する人々の熱意と粘り強い努力によって平成2年、米軍三沢基地内大学への日本人就学が実現。仕事や家庭を持ちながら、幅広い世代の日本人が、アメリカの高等教育を受ける「日帰り留学」で、その能力を高めている。

数十人のアメリカ人が机を並べる前で行われる、外国人講師の授業。飛び交う言葉はもちろん全て英語。講師の言葉に真剣に耳を傾け、筆記する受講生の中に日本人の姿があった。一見、アメリカの大学の授業風景と留学生の姿のようだが、この教室は米軍三沢基地内にある基地内大学の一室。

アメリカの大学で 受ける高等教育

日帰りできる 海外留学

特集

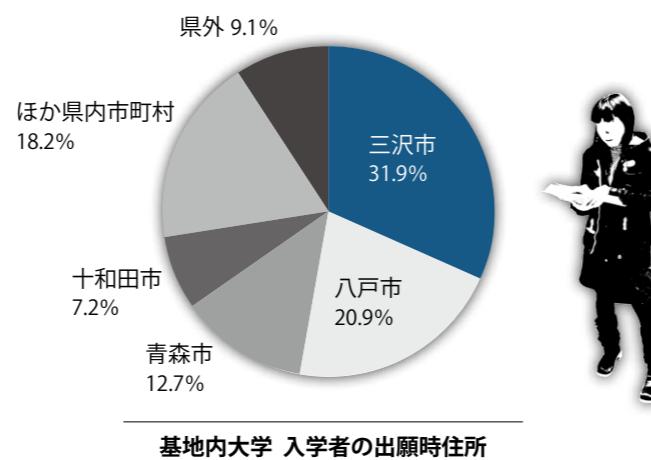
基地内大学のススメ

仕事をしながらの就学
生活に合わせた就学



現在、米軍三沢基地内に置かれているのは、「セントラル・テキサス短期大学」「メリーランド大学」「トロイ大学」「フェニックス大学学院」の4つの大学。いずれも日本人の就学生を受け入れており、これまでに400人以上が、その門をくぐっている。各大学で異なるが、授業の多くは夕方に開講されるため、仕事に就きながら大学に通う人も少なくない。また、どうしても時間が合わない就学者のために通信講座の授業も開設されており、受講生の生活に合わせた時間に勉強することが可能だ。受講ペースも自分で設定することができ、仕事が忙しい期間は受講を休むなど6~8年かけて卒業する人も珍しくない。

授業は全て英語。日本人だからといって特別扱いはない。就学の目的は人によってさまざまだが、ネーティブなアメリカ英語に囲まれた環境でアメリカ本土と同様の単位・資格を取得でき、知識や能力・キャリアの向上、より高いレベルの生涯学習もできるこの学び舎には、全国から幅広い年代の日本人が熱心に学んでいる。



基地内大学をススメる 6つの理由

1 本場のアメリカ英語に触れる環境

講義はもちろん、受講生同士の交流の中でアメリカの文化や考え方を知ることができます。

2 高度な専門知識を習得できる

大学によって異なる開設学科では、高度で専門的な知識を習得することが可能。国際的な舞台で活躍する可能性が広がり、キャリアアップに役立ちます。

3 多彩に開講する教養科目

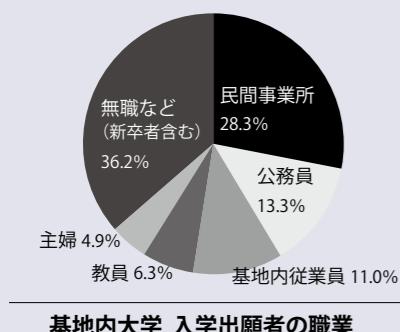
専攻科目だけでなく、歴史など教養科目も数多く開設されているので生涯学習としても最適です。

4 米国本国への留学にステップアップ

さらに高度な知識や能力の習得を求め、米国本国へ留学するためのステップにすることもできます。

5 通学が困難でも通信科目を受講可能

基地内大学には仕事を持ちながら就学する人もたくさんいます。通学が困難な場合は、ビデオやインターネットでの通信科目を受講可能です。



6 入学金が安く、無駄のない授業料

基地内大学は入学金が比較的安く、履修する科目に応じて授業料を支払えるので、自分が学びたい分の費用で済みます。

INTERVIEW 毎日が発見の「新しい世界」



メリーランド大学 卒業生

新堂 善史さん

Yoshifumi Shindo

三沢にいながら、米軍基地内の大学に通える。アメリカ人のために提供されている教育機関の中に日本人が参加できる。先生も同級生もほとんどが外国人。こんな環境は他にあまりないのではないでしょうか。素晴らしい教育資源だと思います。

受講者は年齢も幅広く、考え方も違うため、さまざまなテーマで交わすディスカッション(議論)は外国人の考え方を知るよい機会であり、非常に勉強になりました。基地内大学では毎日が発見です。

基地内大学は単位ごとに授業を受けられるのも魅力の一つ。「忙しいこの期間は休みたい」ということもできます。働きながら生涯学習として8年、10年かけて卒業する方も大勢います。また、英語能力だけで入学できることも特徴。入学に必要なTOEFL試験も国際交流教育センターで受けられます。さらに入学に向けて英語能力を高められる場が整備されれば、より入学を志す人も増えるのではないでしょうか。

INTERVIEW 日本にいながら留学できる魅力



メリーランド大学
登録マネージャー

University of Maryland University College Asia
Field Enrollment Manager Japan

アイリーン・
マクドナルドさん

Arlene S. McDonald

米軍三沢基地内メリーランド大学の事務局に勤務。国内7つの事務所の入学手続きを統括する。

基地内大学で受講する日本人は、すごく真面目で模範的。授業を真剣に受け、筆記をよく取り、テストの成績も優秀な人が多いです。「受ける」授業が中心のアジア人にとって、アメリカの積極的に双方向で発言する授業は戸惑われることが多いようですが、それもまた文化の違いとして学ばれることでしょう。

基地内大学の魅力としては、まず、日本にいながら留学できるということ。留学のための生活費はかからず、授業料も本土に比べ安価です。また、学士などの資格であったり、力や自信を得たかったりと人それぞれに目標を持って学べることも魅力でしょう。単位も、仕事を持ちながら自分に合ったペースで取得できます。

日本人就学者のために英語の理解度を確認するコースなどは用意されていますが、通常の講義ではアメリカ人と全く同じに授業を受けることから、より勉強しなければなりません。それでも得るものが多い、アメリカの大学での受講経験を希望されるなら、ぜひおいでください。



▲米軍三沢基地内にあるメリーランド大学の校舎

基地内大学で 学べること



短期大学から大学院まで、大学によってその内容は異なる。学科や学費、卒業にかかる単位数、講義時間など、自分に合った条件の大学を選択することがよりよい大学生活につながる。

	セントラル・テキサス短期大学	メリーランド大学	トロイ大学院	フェニックス大学院
学位／開設学科	応用科学 準医学士 理学博士 学士／開設学科	東アジア研究、コミュニケーション学、英語、歴史、等 会計学、経営管理学、コンピュータ学、一般教養、コンピュータ及び情報学、政治学、人材管理、心理学、情報保証、心理学、情報システム管理、刑事司法、デジタルメディア及びウェブ技術 情報技術 法律アシスタント ネットワークシステム管理 レストラン＆料理経営 国土安全保障&危機管理 航空保守技術	國際関係学 グローバルスタディ 地域情勢 國家補償関係	経営管理学 人材管理学
修業年限	（M）	（MBA）	（MM）	（MBA）
学費	入学費 なし 約23,500円 学費 US\$250／単位 (通常1科目1～4単位)	入学費 US\$ 50 約4,700円 学費 US\$212／単位 (通常1科目1～4単位)	入学費 US\$ 50 約31,000円 学費 US\$330／単位 (通常) US\$448／単位 (通常) 約42,100円	入学費 US\$ 45 約4,200円 (大学で入学手続きができる場合は無料) 学費 US\$290／単位 約27,200円 (通常1科目1～4単位)
卒業単位数	60～74単位 (学位により異なる)	学士 120単位、準学士 60単位、修了証課程 18単位	36単位	MBAは36単位 MMは39～45単位
学期	5学期制 (1学期8週間)	5学期制 (1学期8週間)	5学期制 (1学期9週間)	7～8学期制 (1学期6週間)
講義日程	基本的に1科目は平日週2回 月・水曜日または火・木曜日 ※週1回の場合は土または日に開講	基本的に1科目は平日週2回 月・水曜日または火・木曜日 ※平日の講座なし	週末2回、土・日曜日 ※平日の講座なし	MBAは通常平日週1回・水曜日 MMは通信のみ火曜日開始
講義時間	18:00～20:15	平日 1時限 16:40～19:20 2時限 19:30～22:10 土日 8:30～12:30 または 9:00～17:00	9:00～17:00	18:00～22:00
大学事務局連絡先	Eメール misawa.jpn.pfec@ctcd.edu ☎ 77-2723	Eメール misawa-asia@umuc.edu ☎ 77-8290	Eメール misawa@troy.edu ☎ 77-3748	Eメール james.deviney@phoenix.edu ☎ 77-3687

* 1 \$ = 93.91円として計算しています。
**授業料は変更になる場合があります。

	ESL プログラム	ブリッジコース
履修科目	文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング、ボキャブラリー 大学学習スキル※ TOEFL クラス	英語を母国語としない人々のための発音とオーラルコミュニケーション、ライティング、小論文と文法の基礎、ライティング入門、学習と原理の戦略、スピーチコミュニケーションの基礎
学費	入学費 なし 約23,500円 学費 US\$250／単位	入学費 US\$ 50 約4,700円 学費 US\$212／単位 約19,900円
学期	5学期制 (1学期8週間)	5学期制 (1学期8週間)
講義日程	基本的に1科目は平日週2回 月・水曜日または火・木曜日	基本的に週2回 火・木曜日
講義時間	18:00～20:15	19:30～22:10

セントラル・テキサス短期大学とメリーランド大学に開設されている、通常のレギュラーコースの入学条件を満たしていない方を対象としたプログラム。

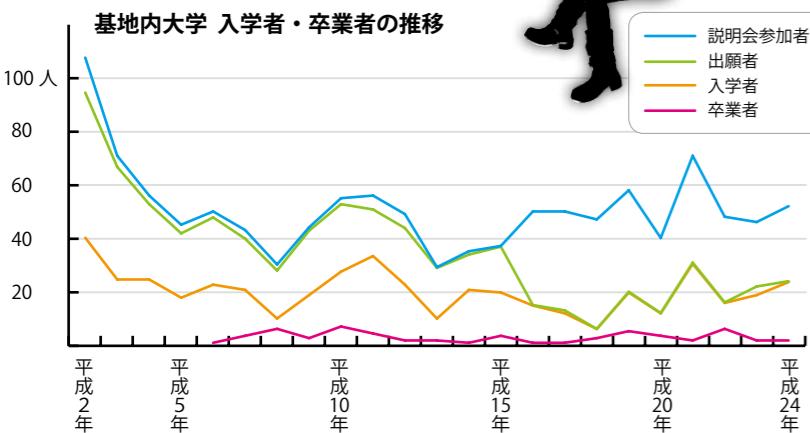
レギュラーコースで学ぶためのスキルを確認することができ、プログラム終了後、通常のレギュラーコースを受講できます。

ESL プログラムとブリッジコースは日本人就学者のために用意されたプログラム。このプログラムだけの受講も可能です。



基地内大学は、日本の大学と入学条件や入学時期も大きく異なる。入学条件は、アメリカの大學生の講義を受けられる英語能力があるかを判断するため、TOEFLなど英語力判定テストでの一定以上のスコア取得と面接試験。英語能力に不安を覚える日本人就学生のため、セントラル・テキサス短期大学とメリーランド大学には、会話や筆記など一通りの英語能力を確認するプログラムも用意されており、このプログラムだけの受講も可能なつてある。

財団法人の青森県国際交流協会では年に2回、3月と8月の入学に合わせて、説明会やTOEFL試験、就学準備会



説明会などを実施。日本人就学生のための入学プログラムを用意して、問い合わせなどにも応じている。また、基地内大学を卒業した日本人が組織する三沢基地内大学就学協議会でも、新たな日本人就学者のためにさまざまな支援を行っている。平成2年の日本人就学開始以来、就学者に対する卒業者の数は少ないが、卒業や資格取得も就学目的の一つ。実際にアメリカへ留学するよりも少ないコストとリスクで得られる知識と経験は魅力的だ。日本の大學生で得た単位の一部をアメリカの大学の単位に換算できる制度もある。

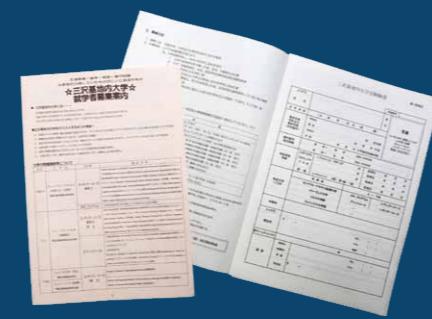
基地内大学は、熱意ある日本人の就学を待っている。

国際文化都市・三沢から日帰りでアメリカに留学できる

【特集】日帰りできる海外留学 完

「入学するは易し、卒業するは難し」。英語力不足や授業方式の違い、仕事と勉学の両立の難しさなどが、貴重な教育環境であり資源だ。最低限受講に必要な一定の英語力と学力さえあれば年齢や経歴、仕事の有無などに関わらず入れる門戸は広い。「入学するは易し、卒業するは難し」。英語力不足が外国人の基地内大学は、貴重な教育環境であり資源だ。最低限受講に必要な一定の英語力と学力さえあれば年齢や経歴、仕事の有無などに関わらず入れる門戸は広い。講師も受講者もほとんどが外国人の基地内大学は、貴重な教育環境であり資源だ。最低限受講に必要な一定の英語力と学力さえあれば年齢や経歴、仕事の有無などに関わらず入れる門戸は広い。外国人の視点・考え方・文化化。また、「外国人から見た日本や日本人」という知識はもちろん、授業や受講生同士の交流の中で知るまでとは違う視点から自分を見つめる機会。これらは、外国人の中でも学ぶ環境でしか、あなたも挑戦してみてはいかがだろうか。

基地内大学就学への道



基地内大学の入学スケジュール

基地内大学への日本人就学時期は年2回。それぞれに、財団法人 青森県国際交流協会で説明会や願書受付など入学スケジュールを組んで対応しています。

8月入学 (秋期)		3月入学 (春期)	
4月	説明会 願書受付開始	11月	
5月	TOEFL ITP 試験	12月	
6月	願書受付締切	1月	
7月	面接試験	2月	
8月	就学準備説明会 就学開始	3月	

基地内大学 秋期就学者を募集します

募集人数 短期大学、大学、大学院を含めて50人程度

応募資格 以下のA、B両方を満たす者

A. 日本国籍があり、次のいずれかに該当する者

- ①日本の高等学校を卒業した者、または卒業見込みの者
- ②大学入学資格検定、または高等学校卒業程度認定資格合格者
- ③高等専門学校3年次修了者
- ④上記①と同等以上の学力があると各大学が特に認めた者
- ⑤大学院応募者は学士号を取得した者、または同等の資格があると各大学が特に認めた者

B. 各大学が定める入学条件(下表参照)を満たしている者

大 学	コ ース	学 度 等	入学に必要な英語能力基準点				入 学 に 必 要 な そ の 他 の 要 件
			TOEFL	PBT	iBT	英 檢	
セントラル・テキサス短期大学	レギュラーコース	準学士	520点		68点		GRE 920点 GMAT 490点 MAT 396点
	ESLプログラム		400点		32点		
メリーランド大学	レギュラーコース	学士・準学士	550点	79点	準1級	6.5点	GRE 920点 GMAT 490点 MAT 396点
	ブリッジコース		450点	450点	45点	2級	
トロイ大学院	レギュラーコース	修士	523点	70点			GRE 920点 GMAT 490点 MAT 396点
			または ACT Compass ESL 270点				
フェニックス大学院	レギュラーコース	修士	550点	80点			GPA 2.5
			TOEIC 750点	Berlitz Exam 550点			

※上記の学位はアメリカの大学の資格であり、日本の大学の資格とは異なります。※通学講座の他に、通信講座があります。

※ ESLプログラム、ブリッジコース講座は、最低人数に満たない場合は開講を見合せる場合があります。

応募の手続き 次の出願書類を募集締切日までに、提出してください。

提出書類	摘要
①願書	「三沢基地内大学受験願書」様式に必要事項を記入し、⑤の写真を貼付したもの
②英語資格の成績表	入学条件を満たすTOEFL、IELTS、TOEICなどのスコアレポートの原本、英検の場合は合格証明書の写しとスコアレポート(未開封のもの)
③その他の成績表	GPA、GRE、GMAT、MAT
④卒業証明書等	セントラル・テキサス短期大学 最終卒業校の卒業証明書・成績証明書(日・英両方) メリーランド大学 最終卒業校の卒業証明書・成績証明書(日・英両方) トロイ大学院 最終卒業校の卒業証明書・成績証明書(日・英両方) フェニックス大学院 最終卒業校の成績証明書(日・英両方)
⑤証明用写真(2枚)	3.5cm×4.5cm(パスポートサイズ)裏面に氏名を記入(※撮影後6ヶ月以内のもので、うち1枚は願書に貼付)
⑥住民票	発行後3ヶ月以内のもの
⑦和文レポート	A4用紙に600字以上800字以内、日本語で「なぜ米国の大学(短期大学)で学びたいのか」をWord等で作成

募集期間 4月15日(月)～6月7日(金)

願書提出・お問い合わせ先

財団法人 青森県国際交流協会 (☎ 017-735-2221)

※資料は、国際交流教育センター (☎ 51-1255) でも配布しています。

はまなす団体活動センター（旧第三中体育館）の利用団体を募集します

教育委員会 教育総務課（内線 366）

市では、4月より廃校となる旧第三中学校の体育館（はまなす団体活動センター）を広く地域の皆さんに利用していただけるよう、利用団体を募集しています。

対象施設

はまなす団体活動センター
(旧第三中学校体育館／三沢市六川目8丁目34-16)

募集団体

當利目的を除く教育、保健福祉、地域防災、芸術文化などに関する利用ができ、以下の項目を満たす団体

- ①地域の活性化が見込まれる活動をすること
- ②地域住民からの理解が得られること
- ③年間を通じて利用する団体であること
- ④電気、水道料金など維持管理費を負担すること

応募方法

教育総務課に設置する様式で、利用計画書を提出

選考方法

応募団体による利用案を説明していただき、選考委員会による選考後、後日団体に別途ご連絡します。

募集期間

3月1日（金）～15日（金）

現地見学

はまなす団体活動センター（旧第三中学校体育館）内を見学することができます。見学日は指定させていただきますので、お問い合わせください。

応募・問い合わせ先

教育総務課 施設係（内線 366）



平成24年度 三沢市少年少女文化優秀賞受賞者

（左から）松館梨佳子さん・斎藤亜美さん・斎藤俊君（木崎野小）／全日本通信珠算競技大会 団体総合競技 小学生の部 全国第1位、小野伶君・山崎優花さん・榎咲花さん（第一中）／全日本通信珠算競技大会 団体総合競技 中学生の部 全国第1位



少年少女文化優秀賞・奨励賞表彰式

2月8日、公会堂小ホールにおいて、三沢市少年少女文化活動で優秀な成績を修めた市内の学校に在籍する小学校児童や中学校・高校生徒を表彰し、さらなる文化意識の高揚と活動助成を図ることを行われました。文化活動で優秀な成績を修めた代表者へ表彰状が手渡され、1位の成績を修めた児童・生徒を対象とした優秀賞が加えられ、合計127人と1団体が表彰されました。吉田教育長から代表者へ表彰状が手渡された後、特に全国で優秀な成績を修めた児童・生徒が、支えてくれた家族や先生、友人らが見守る中で、作品や技能を披露。最後に全受賞者を代表して、青森県発明くふう展で日本弁理士会会長奨励賞を受賞した小出宇弘君（岡三沢小）が謝辞を述べました。小さな頃から、考えたものを形にすることが大好きだったという小出君は「小学校3年生から4年間続けてきた発明で、この賞をいただくことができました。これも、家族やたくさんの方の応援のおかげと感謝しています。この受賞を励みに、これからも世の中の想いを伝えたいです」と感謝と決意の想いを伝えました。

平成24年度の行政評価の結果をお知らせします

行政経営課（内線 281・221）

市では、これまで行った事業内容を振り返り評価しながら、次年度の予算の使い方や事業計画に反映するなど、よりよいサービスを提供していくために「行政評価」を取り組んでいます。

今年度は、職員による内部評価と行政改革推進委員による外部評価で行政評価を実施しました。

評価対象施策 73 施策

評価対象事務事業 392 事業

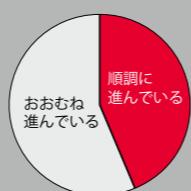
※詳しい結果は市ホームページでご覧いただけます。



内部評価の結果

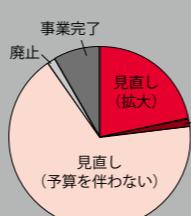
施策

順調に進んでいる	32 施策
おおむね進んでいる	41 施策
あまり進んでいない	0 施策
進んでいない	0 施策
計	73 施策



事務事業

見直し（拡大・予算を伴う）	86 事業
見直し（縮小・予算を伴う）	5 事業
見直し（予算を伴わない）	263 事業
廃止	6 事業
事業完了	32 事業
計	392 事業



行政改革推進委員による外部評価の結果

行政評価の内部評価について、事務事業は今後の事業の方向性を主な着目点として、市民の視点から審議されました。なお、この外部評価は公開で実施しました。

意見が付された事務事業

- ▶ こころの健康まちづくり事業
 - ▶ 介護予防特定高齢者事業
 - ▶ 戦略的中心市街地商業活性化支援事業
 - ▶ 地域生活支援事業
 - ▶ 介護予防支援事業
- など 19 件

平成24年度 三沢市少年少女文化奨励賞受賞者

高 校 生 の 部	三沢高等学校／山本樹里（詩）	
	三沢商業高等学校／加藤文子（ポスター）甲田亮太・米内山ひかり・沢居龍一（情報処理）佐藤麗奈・山田嘉乃・横濱千華・向山佳子・永峯梨香・乙部祐紀・苦米地芽衣・久保沙穂利（ワープロ）竹ヶ原朋美・二宮櫻（珠算）江川栄生（読上暗算）新山麻里菜・鳥谷部志穂・種下芽有里・田中澪・石橋野乃花（電卓）田嶋詩織・對馬未来・高橋菜美（珠算）松林遙夏・四十物佳一・井口真緒・池田香織・石倉杏奈・磯谷栄里・岩城佑佳・内山佑佳・漆畠聖香・蝦名柊也・大沼由季・柿本蒼哉・木村千里・工藤夕実・小比類巻玲・小向美加子・田中綾香・田子優帆・對馬勇貴・中村優香・浪岡麻里耶・庭田直佳・沼倉彩香・沼田友里・野田安貴子・島山美里・日ヶ久保遙・福士智介・細川瑛莉・横濱めぐみ・石川健矢・市川万俟奈・嵯沢朱子・大閑令香・尾形のどか・鹿島みのり・小坂菜月・兒玉となみ・櫻田佳奈・澤田郁也・澤田可南・清水目優・澤目慶乃・田村雅也・田守有希・附田桃菜・中川原亜美・沼尾亜美・能登じゅん・馬場千明・平内陵太・山本真優子・横濱早希・米内山咲希・阿部希美・小国真生・大坂奈々子・柿本拓朗・小比類巻由衣・高山ひかる・種市華那・千葉楓・新山綾華・西館優花・濱田俊哉・山本星・山白七海・横濱彩乃（マーチングバンド）	
中 学 生 の 部	第一中学校／山本彩華（ピアノ）池添真隆（珠算）	第二中学校／3学年（新聞制作）※受賞時は2学年
小 学 生 の 部	第三中学校／二又克也（感想文）	第五中学校／嶋田匡史朗（珠算） 堀口中学校／夏井鈴佳（短歌）
	ヒックスアピファニー彩（俳句）田中佐理奈・太田咲耶・西澤菜々美（短歌）高橋恭亮・三浦美萌（珠算）	
	古間木小学校／古田璃人（版画）棕木美奈（理科研究）	
	上久保小学校／川崎愛莉（ピアノ）田島朱莉（読書感想文）古村礼翔（手紙）鳥谷部世莉・淨法寺桃ノ輔・松岡有里・高坂純哉・高坂樹哉・工藤真大（珠算）	
	木崎野小学校／龜田菜乃（理科研究）逢坂悠樹（絵画）川村匠吾（将棋）斎藤快（珠算）漆館かれん（フラッシュ暗算）江川豪生（珠算）	岡三沢小学校／小出宇弘（発明くふう）



1 マーチングバンド・バントワリング東北大会1位金賞の三沢商業高校吹奏楽部による演奏

2 感謝と決意の想いを伝える小出宇弘君（岡三沢小）

マックテレビが ワンセグ放送を 開始します

3月28日から、三沢市ケーブルテレビジョンの自主放送「マックテレビ」が一部の地域において、テレビ機能付きの携帯電話やカーナビなど「ワンセグ機器」でも視聴できるようになります。

視聴可能場所は一部の地域です

空いている電波を使って、ごく弱い電波で放送する「エリア放送」ですので、視聴可能な地域は送信所から数百メートルの範囲に限られます。

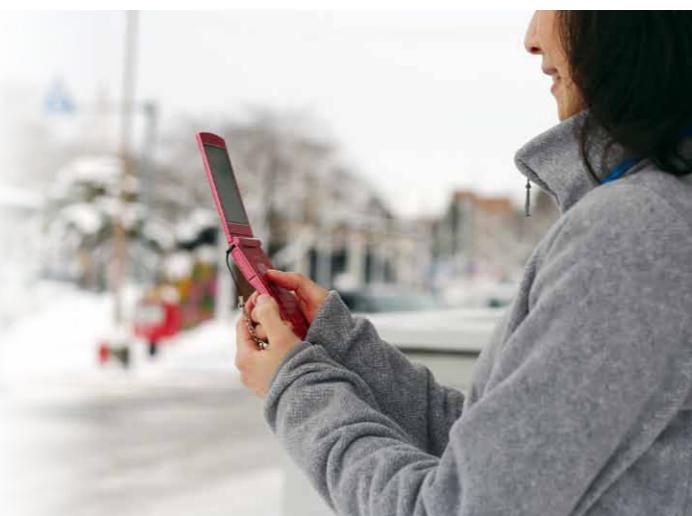
送信所は災害時の避難所に近い下記の16カ所に設置しています。



No.	送信所名称	設置場所
1	岡 三 沢	岡三沢小学校校庭 (岡三沢3丁目1-1)
2	三 沢 中 央	ホテル中央付近 (中央町1丁目7-8)
3	浜 三 沢	招和台 (大字三沢字山ノ神地内)
4	三沢古間木	第五中学校校庭 (字古間木山141-111)
5	三 沢 淋 代	淋代地区コミュニティ集会施設 (淋代3丁目358-1)
6	三沢春日台	古間木団地 (古間木1丁目152-24)
7	三 沢 深 南	深谷地区コミュニティ集会施設 (深谷2丁目44)
8	三沢三川目	三川目小学校正門付近 (鹿中2丁目145-459)
9	三 沢 根 井	根井地区コミュニティ集会施設 (根井2丁目105-17)
10	三沢六川目	六川目団体活動センター (六川目2丁目100-7)
11	三 沢 織 笠	織笠団体活動センター (織笠4丁目2692-1)
12	三 沢 堀 口	堀口団地 (大字三沢字堀口94-154)
13	三沢谷地頭	斗南藩記念観光村付近 (谷地頭2丁目295-1)
14	三沢日の出	ネットトヨタ付近 (大字三沢字堀口94-1403)
15	三 沢 大 町	ミス・ビードルドーム (大町3丁目12)
16	三 沢 園 沢	国際交流教育センター (大字三沢字園沢230-1)

放送内容は、通常のマックテレビ（11CH）と同じです。
データ放送は防災関連情報のみとなります。

問い合わせ先 CATV情報課（☎ 51-1255）



庁舎窓口を18時30分まで延長します

問い合わせは各担当課へ

3・4月の異動による繁忙期間、日中に来庁できない方のために、市民課と国保年金課の窓口業務時間を18時30分まで延長します。なお、延長時間に取り扱いできない事務もありますので、詳しくは担当課へお問い合わせください。

主な取扱事務	期 間	担当課
・印鑑登録、 ・住民票の写し、印鑑証明書の交付 ・住民異動届受付 (転出、転入、転居など)	3月25日(月) ～4月5日(金)	市民課 (内線235)
・国保・年金の資格異動受付 (資格取得、喪失など)		国保年金課 (内線298)
・市税の納付、納付に関する相談 ・市税に関する証明書などの交付 ・原付、小型特殊の標識に関する手続き	通年	税務課 (内線163)

※期間の中に土・日・祝日、12/29～翌年1/3は含みません。

遺児の卒業・入学祝金のお手続きを忘れずに

市民課（内線237）

中学校卒業や小・中学校入学時に、父または母がない（婚姻の解消などによる母子・父子家庭を除く）、もしくは働くことが困難な状況にありながら義務教育終了前の子どもを養育している父母などを対象として、中学校卒業、小・中学校入学時に祝金を支給します。

支 給 額 中学校卒業祝金 10,000円
小・中学校入学祝金 7,000円

申請締切 3月15日(金)

※印鑑（スタンプ印不可）と、対象となる子どもを養育する方の名義の通帳を持参してください。
※その他、必要に応じて別に書類を提出している場合があります。

申し込み・問い合わせ先

市民課2番窓口（内線237）

ごみの収集区分が変わります

環境衛生課[清掃センター]（☎ 59-3331）

ごみの集積場所に出す際は、区分ごとの収集日を間違えないよう十分に注意しましょう。



4月1日から、カセットボンベとスプレー缶の収集は「缶」の日に、布団とカーペットの収集は「もやせるごみ」の日に変わります。



広告

広告

三沢に沖縄の児童を迎える雪遊びなどを体験

1月31日～2月4日

三沢市と沖縄市の青年会議所によって毎年続けられている児童交歓事業。18回目の受け入れとなる今回、沖縄の小学生5・6年生14人が三沢を訪れ、4泊5日の日程でホームステイしながら、雪灯籠作りやスキー、雪遊びなどを体験。雪国の魅力を通して交流を深めました。

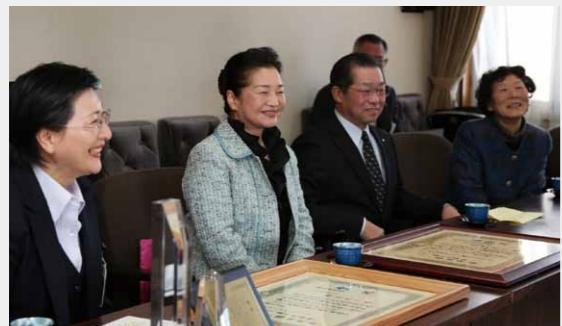


▲沖縄と三沢の児童が交流の証に記念撮影

織笠光子さんが志村源太郎記念賞受賞を報告

2月12日

2月6日、横浜市で開催された第55回全国家の光大会において、JAおいらせ女性部代表の織笠光子さんがごぼうの消費拡大に取り組む自身の体験記を発表。その精力的な姿が評価され、最優秀賞にあたる「志村源太郎記念賞」を受賞しました。



▲JA職員とともに受賞の喜びを長年に伝える織笠さん(左から2)

(株)Growth須藤氏が企業家大賞受賞を報告

2月12日

時代のニーズに応え果敢に取り組む事業者を表彰する東北ニュービジネス大賞。その中でも社会や地域への貢献活動にも力を入れる起業家に贈られるソーシャルアントレプレナー大賞を、三沢市の特産を使った「ごぼう茶」を製造・販売する(株)Growthの須藤氏が受賞しました。



▲種市市長に受賞を報告し、「さらに地域に貢献したい」と話す須藤氏(左)

作りながら知る食べ物の大切さ

農業青年会議が保育所を餅つき訪問 2月8日

農業青年会議は、市内の青年農業者18人が地域農業発展のために活動する団体。食べ物の大切さや、食べ物そのものの姿を知つてもらおうと、淋代平ほ場で収穫したもち米を保育園などに持参し、子どもたちと一緒に餅つきを平成10年から毎年続けています。

今回、農業青年会議メンバーは岡三沢保育園と竹の子保育園を訪問。岡三沢保育園では、メンバーが披露する豪快なきねばきに掛け声掛ける105人の園児らの力も借り、合計約18キロの餅米をつき上げました。つきたてのお餅の姿に歓声を上げる園児たち。一緒に作った農業青年会議メンバーを囲み、お雑煮にしておいしそうにほおばりました。



▲「きねとうすの餅つきを子どもたちに体験してほしい」と続けられる活動

三沢の特産物でアイスホッケー?

長芋スティックアイスホッキー 2月16日

東北防衛局では毎年、テーマを変えながら日米交流イベントを実施しており、今回は、三沢アイスアリーナを会場に、三沢の特産物をモチーフにしたアイスホッケー大会を開催。日米の小学生とその保護者らが共に楽しみました。

防寒具やヘルメットなどを身に着け、アイスホッケーのリーグ戦で競うため集まった、市内・基地内の日米小学生14チーム約120人。ただし、足元は長靴、手には三沢の山の幸である長いもを模したスティックと、海の幸のほっつき貝そっくりのパック。つるつる滑る長靴と勝手が違う道具に、児童たちは転んだり空振りしたりと戦苦闘しながらも、声援に応え、はつらつとしたプレーを交わしていました。



▲次々と生まれる好・珍プレーに、会場は応援と笑い声に包まれました

出来事通信

できごと
つうしん

先人の知恵と技術が詰まった道具に興味津々

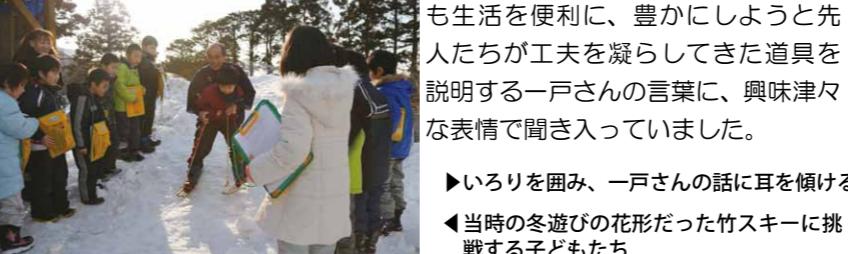
おおぞら小学校 社会科授業「昔のくらしと道具」 1月25日

おおぞら小学校の3年生児童20人が、六川目地区にある古民家「おらどの家」を訪れ、昔使われていた道具から当時の暮らしを学びました。

「おらどの家」は六川目に在住する一戸実さんの旧宅。平成7年ごろから小学校に道具を持ち込み昔の暮らしを教えていましたが、より多くの道具を体験させたいと、改造した旧宅に地域などから収集した昭和初期の民具や農機具などを展示。今では、毎年のように学区であるおおぞら小学校の児童が訪れ、一戸さんの説明を聴きながら昔の道具を直接触り、当時の暮らしに生活するための工夫を学んでいます。

現代に暮らす子どもたちにとって「おらどの家」にある道具は、目新しいものばかり。寒さをしのぎ、少しでも生活を便利に、豊かにしようと先人たちが工夫を凝らしてきた道具を説明する一戸さんの言葉に、興味津々な表情で聞き入っていました。

▶いろいろを囲み、一戸さんの話に耳を傾ける



◀当時の冬遊びの花形だった竹スキーに挑戦する子どもたち



目標せ！三沢のマチツクラー！

地域次世代リーダー育成セミナー 2月2日

知識・経験を生かし自らの手で活動を企画・実践できるリーダーを地域に育むこと、「協働」への意識を高めることを目的として国際交流教育センターで開催されたセミナーに老若男女10人が参加。全3回にわたる講義や参加者同士の議論を通じて自己を研鑽し、三沢市のまちづくりをリードする「マチツクラー」を目指します。

講師を務めるのは、仙台市在住で豊富なボランティアやコミュニティビジネスの経験を持つ足立千佳子氏。第1回のこの日は、行政への住民参加の方法や段階、会議・話し合いの手法である「ワークショップ」について理解を深め、さらに参加者が考える地域の課題を話し合いました。



▲自らが考える「地域の課題」を出し合いながら意見を交わすワークショップ

奥深い読みと駆け引きに白熱

ゴニンカントラップ大会

1月27日

別名『津軽トランプ』として古くから津軽地方に根付く『ゴニンカントラップ』は、10枚の手札を駆使して1組5人が絵札を取り合い、その獲得枚数で勝敗を決する競技。その醍醐味は複雑に繰り広げられる心理戦です。

市民の森老人福祉センターに集まった25人の参加者は、5組に分かれてそれぞれ座布団を囲み、個人と団体の成績を競い合いました。相手の手の内を読みながら切る手札を吟味する、奥の深い読みと駆け引きに会場はヒートアップ。ここでいう勝負の時、熱くなった参加者からは「おりやっ！」と気合のこもった声が。札を切る手にも思わず力が入り、カードが「パシリ！」と座布団に打ち付けられました。



▲初対面でも、競技を通じていきいきと交流を深め、大会を満喫する参加者

みさわ情報ねっと

市役所 ☎ 53-5111

お知らせ

奨学資金貸付の受付開始

学びの資金にご利用ください

対象者 高校・大学の在学者

および入学予定者

貸付月額 高校 1万円以内

大学 3万円以内

受付期限 4月30日(火)

※返済は、卒業後1年間据え

置き、2年目から貸付期間

の2倍の年数内に返還。

※ウェナツチバレーライフ大学に入

学する方には、別の奨学金

制度があります。

▼申問 教育総務課

(内線365)

問い合わせ先 申込み先 開催場所

市民無料相談

●法律相談 (法テラス青森主催)

開催 法テラス青森 (☎ 050-3383-5552)

場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり

6日(水)・21日(木)
4月3日(水)
13時~16時

●法律相談 (社会福祉協議会主催)

開催 社会福祉協議会 (☎ 52-3270)

※要電話予約・先着6名

12日(火)
13時~16時

●法律相談 (市主催)

開催 広報広聴課 (内345)

場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名

26日(火)
13時~16時

●人権・行政相談

開催 広報広聴課 (内345)

場 市民相談室

11日(月)
10時~15時

●人権・困り事相談

開催 人権・困り事相談所 (☎ 52-7083)

場 市民活動ネットワークセンターみさわ (旧ふれあいの館)

第2・4木
9時30分~15時

●創業・起業相談 (21あおもり産業総合支援センター主催)

開催 産業政策課 (内224)

場 市役所別館2階 図書室 ※要電話予約

21日(木)
13時~16時

●教育相談

開催 国際交流教育センター内教育相談室 (☎ 53-6060)

毎週月~金
8時15分~16時

●家庭児童・婦人相談

開催 家庭福祉課 (内381)

毎週月~金
9時~16時

●育児・子育て支援相談

開催 三沢地域子育て支援センター (☎ 53-1176)

毎週月~金
9時~16時30分

●育児・子育て支援相談

開催 びこりんパーク (☎ 53-7772)

毎週月~金
9時~11時30分

●育児・子育て支援相談

開催 みさわファミリーサポートセンター (☎ 50-1518)

毎週月~金
9時~16時30分

●消費者生活相談

開催 県消費生活センター八戸相談室 (☎ 0178-27-3381)

毎週月~金
9時~17時

●警察安全相談

開催 三沢警察署総務課 (☎ 53-3145 内217)

随時
電話相談可

●犯罪被害者支援相談

開催 青森県地方検察庁被害者ホットライン

毎週月~金
9時~16時30分

●がん・緩和ケア・医療相談

開催 三沢市立三沢病院地域医療連携室内

毎週月~金
9時~16時

●介護・福祉相談

開催 三沢市立三沢病院地域医療連携室内 (☎ 51-1375) 10時~15時

登録手続きについて

自動車税にかかる住所変更
手続きはお済みですか?

東北運輸局青森運輸支局
同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12009)

同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12008)

病院ハートフルコンサート
ピアノ・サロン・コンサート
と き 3月24日(日)16時
曲目 君といつまでも、慕情他

実行委員会 成田
(☎ 52-16097)

催し

東北運輸局青森運輸支局
同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12008)

同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12009)

病院ハートフルコンサート
ピアノ・サロン・コンサート
と き 3月24日(日)16時
曲目 君といつまでも、慕情他

実行委員会 成田
(☎ 52-16097)

催し

東北運輸局青森運輸支局
同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12008)

同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12009)

病院ハートフルコンサート
ピアノ・サロン・コンサート
と き 3月24日(日)16時
曲目 君といつまでも、慕情他

実行委員会 成田
(☎ 52-16097)

催し

東北運輸局青森運輸支局
同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12008)

同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12009)

病院ハートフルコンサート
ピアノ・サロン・コンサート
と き 3月24日(日)16時
曲目 君といつまでも、慕情他

実行委員会 成田
(☎ 52-16097)

催し

東北運輸局青森運輸支局
同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12008)

同八戸自動車検査登録事務所
(☎ 050-15540-12009)

病院ハートフルコンサート
ピアノ・サロン・コンサート
と き 3月24日(日)16時
曲目 君といつまでも、慕情他

実行委員会 成田
(☎ 52-16097)

催し

普通救命講習会

いざといっしきのために

楽しいもつ国際交流太極拳
どなたでも参加できます

航空科学館イベント情報

ダンボールパーク展
音で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

図書館シネマ (上映会)

音楽で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

図書館シネマ (上映会)

音楽で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

音で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

広告

普通救命講習会

いざといっしきのために

楽しいもつ国際交流太極拳
どなたでも参加できます

航空科学館イベント情報

ダンボールパーク展
音で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

図書館シネマ (上映会)

音楽で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

図書館シネマ (上映会)

音楽で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

音で遊ぼうキンダージャム

お気軽にお申し込みください

募集

桜の植樹会

受講料 無料

消防署救急係

申込締切 4月18日(金)

内 容 AEDの使用方法、異物除去法など

講 師 N.H.Kで放送中の大河ドラマ「八重の桜」にちなみ、明治初期、多くの会津藩士が移り住んだ当市ゆかりの地に桜を植樹します。

参 加 料 参加者のプレートを取り付けますので、ぜひ家族・友達同士でご参加ください。

申込締切 4月13日(土)10時~12時

講 師 野呂金徳氏・関口亨氏

定 員 20人(先着順)

参 加 料 500円

申込締切 3月15日(金)

講 師 林業振興課

定 員 約50組

募 集

桜の植樹会

受講料 無料

消防署救急係

申込締切 3月22日(金)

内 容 AEDの使用方法、異物除去法など

講 師 斗南藩記念観光村

定 員 くれ馬ばく北側

参 加 料 (1組で6本植樹予定)

申込締切 3月22日(金)

講 師 観光物産課

定 員 約50組

参 加 料 スコップをご準備ください。

申込締切 3月22日(金)

講

INVITE 十和田エイト・ライン観光協議会会員を募集

十和田湖と小川原湖を結ぶエリア（十和田市、三沢市、七戸町、東北町、新郷村）にある食・温泉・施設などの観光資源を活用するため、現在は民間事業者33団体と5自治体が連携して、全国に向けた情報発信や新商品開発支援などに取り組んでいます。

エリア内の資源を最大限活用し、観光関係団体等との連携強化・情報交換向上を図るため、会員を広く募集します。詳しくは、お問い合わせください。

年会費 1口 20,000円（4月～翌年3月）

入会特典

- ①お店や商品を積極的にPRします
ホームページ、SNS、フリーペーパーなどあらゆる媒体でお店や商品の情報をPR
- ②全国にプロモーションします
JR東日本やNEXCO東日本と連携し、イベントやキャンペーンで広くプロモーション
- ③各会員団体のイチ押しメニューで旅行商品
会員団体の魅力をツアー商品として具体化して全国のお客様に提供

INVITE 十和田エイト・ライン公式マスコット キャラクターの名前を募集します



性別	女の子	PROFILE
誕生日	8月8日	
年齢	ヒ・ミ・ツ	
出身地	十和田市、三沢市、七戸町、東北町、新郷村にまたがる神秘の国・エイトランド	
性格	何でも自分でやってみないと気が済まない。おしゃべり好き	
趣味	おでかけとお菓子作り	
仕事	エイトラインの旬な情報をどんどん伝えます	

優秀作品にはプレゼントを進呈します。

応募方法

①Eメール 十和田エイト・ラインホームページのお問い合わせ>応募フォームに、考えたキャラクター名とその理由、必要事項を入力。お問い合わせ欄に「エイトキャラネーミング応募」と入れて送信

官製はがきの裏面に、考えたキャラクター名とその理由、住所、氏名、電話番号と「エイトキャラネーミング応募」と明記し郵送

応募締切 3月15日（金）

※優秀作品の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

★申し込み・応募・問い合わせ先

十和田エイト・ライン観光協議会事務局（☎ 51-6772）
〒034-8615 十和田市西十二番町6-1[十和田市観光推進課内] <http://www.towada-8line.com/>

RECRUIT 国家公務員採用試験のお知らせ

試験	受付期間	第1次試験日
総合職試験 (院・大卒程度)	インターネット 4月1日(月)9:00 ～8日(月)[受信有効]	4月28日(日)
一般職試験 (大卒程度)	インターネット 4月9日(火)9:00 ～18日(木)[受信有効]	6月16日(日)
一般職試験 (高卒者程度)	インターネット 6月24日(月)～7月3日(水) 郵送・持参 6月24日(月)～28日(金)	9月8日(日)

※申し込み方法や受験資格などの詳しい内容については、人事院のホームページまたは下記へお問い合わせください。

★問い合わせ先 人事院東北事務局第二課試験係（☎ 022-221-2022）
人事院ホームページ <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

INVITE 高齢者施設で活動するボランティアを募集します

レクリエーションボランティア

食堂に集まってトランプや花札、カラオケといったレクリエーションをする入居者の見守りや補助などをしています。

活動場所 晴ヶ丘老人ホーム

活動日時 火・金曜日の9:30～11:30または13:00～15:00

募集対象 満18歳以上

募集人数 1～3人



お洗濯ボランティア

備え付けの洗濯機を使い、入浴で使ったバスタオル類の洗濯や、干す作業などを手伝います。

活動場所 はるが丘デイサービスセンター

活動日時 月～土曜日の13:00～14:30

募集対象 満18歳以上

募集人数 1～6人

※動きやすい服装で、エプロンや上履きを持参ください。

※月1回からの活動でも構いません。活動日時や活動時間についてはご相談に応じます。

★申し込み・問い合わせ先 三沢老人ホーム（☎ 54-2534）

INFORMATION 屋外スポーツ施設が4月7日（日）からオープン！

施設	4月からの予約・問い合わせ先
南山多目的 ふれあい広場 テニスコート	☎ 51-2091 ☎ 080-1650-3480 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00
南山屋外運動場	☎ 51-8105 ☎ 080-1650-3479 月～金 13:00～21:00 土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00
三沢市民運動広場 (野球場)	☎ 57-2812 ☎ 080-1650-3481 月～金 9:00～17:00

※悪天候時は使用できない場合がありますので、ご了承ください。

★問い合わせ先 財団法人 三沢市自治振興公社（☎ 51-1930）

INVITE 「市民有機農園」の利用者を募集します

家庭菜園の場所がない、交流の場を広げたい、子どもに作物を育てる楽しみを教えるために特にオススメです。

利用期間 4月13日(土)～11月中旬

場所 三沢市堀口地区（堀口中学校付近）

利用面積 5坪（1区画）※4区画まで申込可能

対象者 作物作りに興味があり、利用規約、利用マナーが守れる方

利用料 1区画 1,000円

定員 228区画（先着順）

申込方法 マン・パワー事務所で直接申し込み、契約

申込期間 3月11日(月)から区画が埋まるまでの平日 9:00～17:00（電話予約可能）



※家族・団体扱い以外での、代理申し込みや1区画の共同利用はできません。

※平日に申し込みできない方のために、3月16日(土)の午前に臨時契約日を設けます。必ず事前に電話予約し、時間指定を受けてください。

★申し込み・問い合わせ先

NPO法人マン・パワー（☎ 57-2322）

SEMINAR モラロジー生涯学習セミナー「心新たに生きる」

モラロジー研究所では、より良い人生、より平和で豊かな社会を築くためには「質の高い道徳」の実行が大切であると考えています。このセミナーでは、テキスト『心新たに生きる』を用いて、日常生活におけるさまざまな問題や課題に対処するための手掛けりを学びます。

日時 3月24日(日) 12:50～17:30（受付12:00～）

場所 国際交流教育センター

講師 公益財団法人モラロジー研究所
社会教育講師

鷺津徳三氏・越川文子氏

参加料 2,000円（テキスト代）

★申し込み・問い合わせ先

三沢モラロジー事務所（☎ 57-1010）



CONSULTATION 暮らしとこころの無料法律相談会

多重債務や労働、離婚、DV、いじめなど、生活や心の悩みに関する法律相談を無料で実施します。

期間 3月25日(月)～29日(金)

場所 市内または近隣市町村の法律事務所

相談方法 予約受付後、地域担当弁護士からご連絡差し上げ、日程調整の上、担当弁護士の法律事務所で相談

予約期間 3月21日(木)～28日(木)の9:00～17:00（土・日を除く）

★予約申し込み・問い合わせ先

青森県弁護士会事務局（☎ 017-777-7285）

INVITE 市営住宅の入居申し込みを受け付けします

4月3日(水)から平成25年度入居申し込みの受け付けを開始します。年度ごとに受け付けますので、平成24年度中にお申し込みされた方も、改めてお申し込みください。

- 入居資格**
- ①三沢市民であるか市内に勤めていること
 - ②住宅に困窮していること
 - ③所得が政令で定められた金額以下であること
 - ④税金の滞納が無いこと
 - ⑤暴力団員でないこと
- ※詳細はお問い合わせください。

★申し込み・問い合わせ先
建築住宅課（内線260・263）



INVITE 「市民いきいき農園」の利用者を募集します

野菜や花きなどの栽培を通して、土や自然と親しみながら農作業を体験できる場として、市民農園を開設しています。

いいこといっぱい、収穫どっさりの市民農園にあなたも応募してみませんか？

利用期間 4月13日(土)～11月17日(日)

場所 三沢市大字三沢字南山8番地1号

利用面積 1世帯につき3坪（約10m²）の1区画

対象者 市内在住で農地を持たない世帯

利用料 1,000円

定員 85世帯（応募者多数の場合は抽選となります）

申込方法 農政課に設置および市ホームページに掲載する所定の申請書類に必要事項を記載、押印の上、農政課へ持参ください。

申込締切 3月18日(月)

※農園整備として石灰および堆肥肥料をまく予定です。

抽選方法

区画は、事務局による公開抽選で決定します。

日時 3月27日(水) 10:00～

場所 市役所本館4階 第2会議室

※抽選の結果は4月上旬に郵送でお知らせします。

★申し込み・問い合わせ先 農政課（内線269・268）





Pick Up

自殺予防講演会

1月26日、公会堂小ホールで自殺予防講演会が開催されました。

平成10年以降、国内における年間自殺者は毎年3万人を超え、三沢市でも年間10人以上の尊い命が失われ続けてきました。この状況に、市は毎年、民生委員などを対象に講習会を実施。一人で思い悩んでいる人に気付き、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る「ゲートキーパー」の育成に努めてきました。しかし、より身近な隣人である家族や友人の変化に気づいてもらうため、一般個人を対象として自殺を予防するための知識や心構えを養い、より多くの人々がゲートキーパーとして活動できるよう講演会を実施。講師であるNPO法人「心に響く文集・編集局」の代表・茂幸雄氏が福井県・東尋坊を毎日ボランティアで見回り、自殺を目的に訪れる人々の話を真剣に聞きながら8年間で400人以上の命を救ってきた経験や自殺予防への考え方を力強く講演しました。「大事なのは本人の話を聞くこと。再出発するまでの支えになってほしい」と、悩む人の話を聞くことを強く訴えかける講演内容に、集まつた多くの人々は熱心に聞き入っていました。

また、講演会開催前に市は、自殺予防につながる標語とイラストを募集。この日、「命を大切にしてほしい」などのメッセージを込め応募された標語176点、「心の健康」をイメージさせるイラスト85点が会場入口に展示され、選考による入賞者に表彰状と特産品などの副賞が贈られました。これらの入賞作品は、今後、市の自殺予防啓発に活用されます。

誰もがなり得る心の病。市をはじめ多くの相談窓口が開設されています。正しい理解と関心を持って、家族や職場、友人など大切な人の、そして自分の命を守りましょう。

市では心の病気についての悩みを精神保健相談員がお受けする「こころのケア相談」を実施しています(25頁参照)。お困りのことや悩んでいることがありましたら、一人で悩まず、家族だけで抱え込みます、まずは一度ご相談ください。

問い合わせ先
健康推進課 (☎ 57-0707)



佐藤 麻羽さん(木崎野小5年)
標語部門 最優秀賞
よく考えよう
ぼくらの命 うまれた意味を



沢居 裕佑くん(第五中3年)
標語部門 優秀賞
苦しみも悲しみも生きている証
無駄な命なんてひとつもない



浪岡 倖有さん(木崎野小1年)
標語部門 優秀賞
こえかけて いのちをまもる
まほうのことば

自殺予防につながる標語・イラスト入選者



細川 亜美さん(古間木小1年)
イラスト部門 最優秀賞



三浦 愛実さん(岡三沢小5年)
イラスト部門 優秀賞



田中 愛莉さん(岡三沢小3年)
イラスト部門 優秀賞



Pick Up 豊かな心を育てる生徒指導研究推進協議会

親子 標語

普段の生活の中で決めた、親子で守る約束ごと。

児童・生徒の規範意識向上をめざし、市内小学校4学年の児童と保護者が親子で相談しながら標語を作りました。集まった標語は404件。その中から選ばれた作品を紹介します。



決まりごと 守る君に 金メダル

ひゅうが りゅうすけ
萩原 日向くん(岡三沢小4年)・龍介さん

見えますよ 日ごろの行い 心がけ

こころ きちこ
織笠 想さん・幸子さん
(おおぞら小4年)



自分のこころはわかっている やっていいこと悪いこと

あい 久美子さん
高橋・杏依さん(古間木小4年)



決まりごと 守って気づく 親子の和

あいり 川崎愛莉さん(上久保小4年)
・美奈子さん



ぼくたちみんな一つのチーム ルールを守って フェアプレー

けんしろう 黒沢健之郎くん(木崎野小4年)・のぞみさん

学校の きまり守れば いい気持ち

じょうぶ 梅庭翔輔くん(三川目小4年)
・里枝さん



原田 彩伎 さん

堀口在住の18歳。三沢高校在学中の2011年5月、姉妹都市友好親善大使の1人として米国ワシントン州ウェナッチャバレーを訪問。7日間の日程で現地ホストファミリー宅にホームステイしながら、中学校や大学、博物館などを訪問。さまざまな生活や文化の違いなどを体験する。帰国後、海外留学への想いを募らせている中で目にした、広報2012年3月号のWVC入学者募集記事を見て決意。すぐに英語の特訓を始め、同年8月にTOEFLを受験し、入学基準をクリアした。

入学の準備を進める日々、同じく姉妹都市親善大使として訪米した仲間からの応援の声に「『みんなもおいで』って言いたいです」と笑顔を見せる。



▲2011年に姉妹都市を訪れた親善大使たち



三沢高校に通う原田彩伎さんは、3月の卒業後に渡米。姉妹都市にある大学・ウェナッチャバレー・カレッジ(WVC)へ入学する。きっかけは、1年前に発行された「広報みさわ」。WVC入学者募集の記事を見て、心を決めた。すぐ決心できたのには理由がある。一つは、姉妹都市友好親善大使としてウェナッチャバレーを訪問した経験。未知の世界での経験は視野を広げ、ホストファミリーをはじめとする現地の人々は心温かく信頼できる誠実さを持つていた。もう一つは背中を押してくれた両親の存在。「思い切つて、いつてらっしゃい」。幼い頃から英語塾に通わせてくれた、先見の明を持つ両親の応援は、何より心強かった。

1931年、世界初の太平洋無着陸横断飛行を成し遂げたミス・ビードル号は、発着地である三沢市と米国ワシントン州ウェナッチャバレーを固い絆で結んだ。以来、姉妹都市親善使節団をはじめ、多くの人々によって深められてきた交流に今、一人の少女が新たな一步を刻む。

三沢高校に通う原田彩伎さんは、3月の卒業後に渡米。姉妹都市にある大学・ウェナッチャバレー・カレッジ(WVC)へ入学する。きっかけは、1年前に発行された「広報みさわ」。WVC入学者募集の記事を見て、心を決めた。すぐ決心できたのには理由がある。一つは、姉妹都市友好親善大使としてウェナッチャバレーを訪問した経験。未知の世界での経験は視野を広げ、ホストファミリーをはじめとする現地の人々は心温かく信頼できる誠実さを持つていた。もう一つは背中を押してくれた両親の存在。「思い切つて、いつてらっしゃい」。幼い頃から英語塾に通わせてくれた、先見の明を持つ両親の応援は、何より心強かった。

一時は、看護の仕事に就こうと考えたこともあるという彩伎さん。大学では、英語と共に以前から興味のあったビジネスを学ぶ。短期大学のWVCでは、卒業後4年制大学編入への道も開けている。

「夢は…まだわかりません。4年制大学編入と英語を生かした仕事に就くことが目標です」。そう話す前を向く瞳は希望に輝いていた。

英語に慣れ親しみ、好んで勉強してきた彩伎さんだが、WVCへの入学に必要とされる英語力の基準には、まだ遠かつた。外国人講師と1対1の教室に毎週通い、インターネットを利用して、あらゆる方法で英語力を高めた。彩伎さんの英語上達のコツは話す、聴く、尋ねること。わかるない言葉もすぐその場で調べて理解するのが彩伎さん流。その都度保存する彼女の携帯電話は、今では辞書化しているという。その努力が実り、8月のTOEFL試験でWVCの合格基準をクリア。もう彩伎さんの挑戦を阻むものはなかつた。

人口と世帯数 —1月末現在— ※()内は前月との増減比較

■人口 42,203人 (-18人)・男 20,793人 (+7人)・女 21,410人 (-25人) ■世帯数 18,816世帯 (-12世帯)